



2022年5月6日

各位

会社名：株式会社パリミキホールディングス  
代表者名：代表取締役社長 澤田 将広  
(コード：7455 東証プライム)  
問合わせ先：執行役員 財務経理担当 加山 雄治  
(TEL. 03-6432-0732)

### 通期連結業績予想の修正、営業外収益ならびに特別損失の計上見込みに関するお知らせ

当社は、2022年2月14日に公表しました2022年3月期の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	44,403	25	276	△ 754	△ 14.84
今回修正予想 (B)	44,111	△ 510	169	△ 1,142	△ 22.49
増減額 (B - A)	△ 291	△ 535	△ 106	△ 388	
増減率 (%)	△ 0.7	—	△ 38.7	—	
(ご参考)前期連結実績 (2021年3月期)	43,873	△ 180	613	△ 39	△ 0.78

#### 業績予想修正の理由

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症による影響が、2022年3月下旬頃まで継続することは想定していましたが、徐々に回復するものと見込んでおりました。

しかし行動自粛を求められる状況が長引いたことで、国内売上および海外売上ともに想定を下回っており、そのような中でも3月以降の回復を見据えて、店舗の出店や改装、春の集客に向けた販促施策を推し進めていることや、店舗設備に関わるコストの上昇などにより、販管費が想定を上回ったため、営業損失となる見込みです。

また、下記に説明のとおり、主に為替差益の影響額により経常利益は黒字となる見込みですが、不採算店舗の減損損失を計上する見込みであり、親会社株主に帰属する当期純利益も想定を下回ると見込んでいたため、予想を修正することといたしました。

## 2. 営業外収益（為替差益）の計上

外国為替相場の大幅な変動により、2022年3月期連結累計期間（2021年4月1日～2022年3月31日）において、為替差益384百万円を計上する見込みです。これは主として、期末日（2022年3月31日）時点における外貨建資産を同日の為替相場で評価したことによるものです。

## 3. 特別損失（減損損失）の計上

当社および一部の連結子会社における店舗等の固定資産について、収益性の低下がみられたことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失として825百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績はこの後もさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上